

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

試 験 問 題

（国語）

注意事項

- 1 試験は全問マークシート方式です。解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。マーク欄を正確にぬりつぶしてください。
- 2 問題冊子の印刷不鮮明等があった場合は手を挙げて監督の先生に申し出をしてください。
- 3 HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使用し、ボールペンは使用しないでください。
- 4 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- 5 解答用紙の氏名欄に氏名を、受験番号欄に受験番号を記入し、受験番号をマークしてください。
- 6 試験終了後、問題用紙・解答用紙は回収します。

記入例 （例：享栄太郎、受験番号012345番、受験科目 国語）

<p>鉛筆はHBを使用すること 【記入例】</p> <p>良い例  悪い例 </p> <p>※受験番号を記入しマークしてください。</p>	<p>氏名 享 栄 太 郎</p>	<p>受験科目名 国 語</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">受験番号</td> <td style="width: 12.5%;">0</td> <td style="width: 12.5%;">1</td> <td style="width: 12.5%;">2</td> <td style="width: 12.5%;">3</td> <td style="width: 12.5%;">4</td> <td style="width: 12.5%;">5</td> </tr> <tr> <td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>3</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>4</td><td>0</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr> <td>5</td><td>0</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr> <td>6</td><td>0</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr> <tr> <td>7</td><td>0</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr> <td>8</td><td>0</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr> <td>9</td><td>0</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td></tr> </table>	受験番号	0	1	2	3	4	5	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	1	3	0	2	2	2	2	2	4	0	3	3	3	3	3	5	0	4	4	4	4	4	6	0	5	5	5	5	5	7	0	6	6	6	6	6	8	0	7	7	7	7	7	9	0	8	8	8	8	8	0	0	9	9	9	9	9
受験番号	0	1	2	3	4	5																																																																										
1	0	0	0	0	0	0																																																																										
2	0	1	1	1	1	1																																																																										
3	0	2	2	2	2	2																																																																										
4	0	3	3	3	3	3																																																																										
5	0	4	4	4	4	4																																																																										
6	0	5	5	5	5	5																																																																										
7	0	6	6	6	6	6																																																																										
8	0	7	7	7	7	7																																																																										
9	0	8	8	8	8	8																																																																										
0	0	9	9	9	9	9																																																																										

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

恐竜が歩き回る姿を想像することはできる。しかし、それは ^Aあくまでも想像だ。私は鳥の研究をしているので、つい鳥を参考にして恐竜を歩かせてしまう。

鳥の歩行の特徴の一つは、⁽¹⁾首振りである。人は、ノーという意味を表すために首を横に振るが、鳥の場合は前後に振る。そして、鳥の首振りをはじめは首振りではなく、頭の固定である。一般に捕食者の目は、対象物を立体的に捕捉できるように、両目の視界が重なる ^aハン囲を増やしている。要するに、前向きについている。⁽²⁾これに対して、被食者は視野を広げるために目が横についている。⁽³⁾鳥は、被害者意識が強いので、目が横向きの種が ^B多い。

目が横についていると、前に向かって歩いたときに、風景が後ろに流れていく。電車の窓から見る風景を思い浮かべてもらいたい。人間の目は眼球を動かすことができるので、窓の外で流れ行く対象に対して、眼球のみを動かして、視野のなかで一瞬固定することができる。おかげで美人のお姉さんの姿を目の端にとらえ、^C1日幸せな気分が過ぎ、仕事も順調に進む。

しかし、鳥はあまり眼球を動かすことができない。このため、眼球の移動により、窓外の美人の姿を固定することができない。そこで行っているのが首振りだ。眼球の代わりに、⁽⁴⁾首全体を風景に対して固定するのだ。体との位置関係を見ると、頭を振っているように見えるが、それは、あくまでも空間に対する頭の固定といえる。

長い首を利用して、頭を素早く前に出す。頭の位置は固定したまま、体を前方にもってくる。こうすれば、風景が見えづらくなるのは、首を移動する一瞬だけで、ほとんどの時間は目に見える風景が安定している。ムラサキサギという鳥では、首を一度のぼす間に、2歩進む場合もある。彼らはとても首が長いので、それが可能なのだ。もちろん、すべての鳥が首を振るわけではないが、サギ、ハト、シギ、ムクドリなど、いろいろな鳥が首を振りながら歩いている。この歩き方は、鳥にとってかなり一般的な方法といえる。

頭を固定する行動は、歩行時だけではない。 X、飛翔中のツバメなんかを見ていると、頭を地面に対して水平に保ったまま、体だけひねって方向転 ^bカンする姿が見られる。揺れる枝の上では、首を伸縮して頭だけ同じ位置に保つ姿も見られる。パントマイムで、頭が動かなくなり体だけ前に進もうとする人を思い出してほしい。目で見える風景を安定させると、捕食者や食物を発見しやすくなるものと考えられる。彼らの首振りには、命と生活がかかっているのだ。

もちろん、次の話題は恐竜の首振りだ。鳥にとって、歩行時の首振りが機能的であるということは、恐竜でも前後に首を振っていた可能性があ

るということだ。ただし、首振りの有無について、形態的に判別する方法はまだ示されていない。足跡からも、首を振っていたかどうかを知ることとはできない。恐竜に首を振らせた日本人を代表して、⁽⁵⁾彼らが首を振っていたかどうかを考えてみよう。

まず、大前提として、眼球運動があまり発達していないことが条件だ。テレビの再現映像なんかを見てみると、肉食恐竜が目だけこちらに向けてギロリとにらんでくる。もしそうなら、⁽⁶⁾眼球運動ができるから首振りには必要ないということになってしまふ。あれは根拠があるのだろうか。彼らの眼球運動についてはよくわからないが、とりあえずできないということにしよう。そうでないと話が進まない。

次に、首振りには、ある程度の長さの首が必要だろう。竜脚類なんて、首が長いので、あれを大いに前後させながら歩く姿は⁽⁷⁾ダイナミックで期待できる。首を一振りする間に5歩くらい歩いてしまふかもしれない。そして、重要なのは姿勢だ。首を前後に振るためには、頭がある程度上に向いていて、首がS字型に^D柔軟に曲がる必要がある。⁽⁸⁾昔の復元図では、多くの恐竜が頭を上にもち上げていた。しかし、最近の趨勢では、体に対して首と尾を前後に伸ばしてバランスをとる姿勢が採用されている。竜脚類も、最近はこれでもかと首を前に伸ばしている。そして、骨の形態の分析では、首はあまり可動せず、上下にはほとんど曲がらなかったと考えられている。なにより彼らが食べていた植物は、視界を固定していないと見逃してしまうような小振りな代物ではないので、そもそも首振りをする必要もないかもしれない。これじゃ、首振りは無理だ。首振りの有無について、私も首を縦に振ることはなく、^Y面目ない。今季まずは1敗。

竜脚類に対し、獣脚類は多くの種で首がS字型に曲がっていることが知られている。彼らなら柔軟に首振りをしていて種がいてもおかしくない。鳥が首を振る理由は、食物や捕食者など、⁽⁹⁾命に関わる素材を風景のなかから見逃さないことである。首を振らずとも見逃すことのないような大型の対象を相手にする種には、首振りは不要である。大型の肉食者にとっては、捕食者は自らであり、食物は物陰に隠れて見逃してしまうような小型のものではない。このため、⁽¹⁰⁾振り主は小型種に的をしぼりたい。食物は、昆虫のように草陰に隠れてしまうような小型の動物だ。これを見逃さないために視界を固定しておきたい。また、遠くに小さく見える段階で捕食者を検出することも大切だ。この時点ならまだ逃走可能な距離だ。昆虫などの小型動物を主食とする小型獣脚類は、首を振りながら大地を歩き回っていたことだろう。

しかし、獣脚類といえれば鳥類を輩出した分類群であり、違和感がなさ過ぎる。従来から鳥に近い復元をなされてきたグループであり、いまさら首を振っていたと^Zと語っても、まあそうかもね、とがっかり気味の^E生返事を返されるのが関の山だ。なんだかあまり^Cソウ快感がないが、1勝1敗としたい。

問1 二重傍線部 a「ハン」 b「カン」 c「ソウ」を漢字に直したとき、同じ漢字を用いるものを、それぞれ①～⑤の中から一つずつ選びなさい。
 解答番号は [1]・[2]・[3]。

- | | | | | | | |
|---|-----|-------------|------------|-------------|--------------|------------|
| a | ハン | ① 子孫がハン榮する。 | ② ハン長になる。 | ③ ハン売する。 | ④ 意見をハン映させる。 | ⑤ 模ハン的な行動。 |
| b | 転カン | ① カン境を守る。 | ② カン声上がる。 | ③ 景品を交カンする。 | ④ 社会にカン元する。 | ⑤ 注意カン気する。 |
| c | ソウ快 | ① サワやかな風。 | ② 走るのがハヤい。 | ③ オクリとどける。 | ④ オモいを伝える。 | ⑤ ほうきでハク。 |

問2 波線部 A「あくまで」 B「多い」の品詞として最も適当なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。
 解答番号は [4]・[5]。

- | | | | |
|---------|-------|-------|--------|
| A「あくまで」 | [4] | B「多い」 | [5] |
| ① 名詞 | ② 副詞 | ③ 連体詞 | ④ 接続詞 |
| ⑤ 感動詞 | ⑥ 動詞 | ⑦ 形容詞 | ⑧ 形容動詞 |
| ⑨ 助詞 | ⑩ 助動詞 | | |

問3 波線部 C「美人」 D「柔軟」について、これらの熟語の構成として適当なものを次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。
 解答番号は [6]・[7]。

- | | | | |
|------------------------|------------------------|--------------------|--------------------------|
| C「美人」 | [6] | D「柔軟」 | [7] |
| ① 同じような意味の漢字を重ねたもの | ② 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの | ③ 上の字が下の字を修飾しているもの | ④ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの |
| ⑤ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの | | | |

問4 波線部E「生」の読みとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 8。

- E 生返事 8 ① なま ② は ③ せい ④ しょう ⑤ き

問5 傍線部(1)「首振り」とあるが、鳥が歩行の際に首振りをするのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 9。

- ① バランスをとるため。
② ノーという意志を表すため。
③ 恐竜を歩かせるため。
④ 風景を見えやすくするため。
⑤ 眼球を大きく動かすため。

問6 傍線部(2)「これ」の指す内容として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 10。

- ① 人間の目 ② 捕食者の目 ③ 鳥の目 ④ 頭 ⑤ 首

問7 傍線部(3)「鳥は、被害者意識が強い」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は

11。

- ① 本当は被食者ではないということ。
- ② 対象物を立体的に捉えているということ。
- ③ 風景が見えづらい種族であるということ。
- ④ 仕事が順調に進まないということ。
- ⑤ 捕食者からねらわれやすいということ。

問8 傍線部(4)「首全体を風景に対して固定する」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は

12。

- ① 頭の位置を固定させたまま体を移動させることで、風景を捉えられるようにすること。
- ② 空間の中で体全体を静止することで、風景が後ろに流れていくことを防ぐということ。
- ③ 風景と首の距離を近づけることで、横向きの目でも立体的に捕捉できるようにすること。
- ④ 同じ景色を見続けるようにすることで、鳥も眼球を動かすことができるということ。
- ⑤ 歩行時に絶えず頭を振ることで、まるで固定しているかのように見せているということ。

問9

X

に当てはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

13。

- ① しかし
- ② もちろん
- ③ たとえば
- ④ ただし
- ⑤ ところで

問10 傍線部(5)「彼ら」とは誰のことか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 14。

- ① 恐竜
- ② 日本人
- ③ 鳥
- ④ ツバメ
- ⑤ 被食者

問11 傍線部(6)「眼球運動ができるから首振りには必要ないということになってしまふ」とあるがそれはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 15。

- ① 首振りには鳥にとってかなり一般的な歩き方ではあるが、恐竜が歩き回る姿はあくまでも想像のなかの姿でしかないから。
- ② 眼球運動ができるのであれば、人間の目のように眼球のみを動かして視野の中で見たいものを固定させることができるから。
- ③ テレビの再現映像では眼球運動をしている姿はよく見られるが、専門家からすると根拠に乏しいように感じられてしまふから。
- ④ 眼球運動ができるということは、首振りをするのに必要なS字で柔軟に曲がる首を有していないということであるから。
- ⑤ 首振りをするのは被食者の証であるため、捕食者の最たる例である大型の肉食恐竜が首を振っていた可能性は全くないから。

問12 傍線部(7)「ダイナミック」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 16。

- ① 素早い
- ② 大味な
- ③ 恐竜
- ④ きらびやかな
- ⑤ 力強い

問13 傍線部(8)「昔の復元図」とあるが、「昔の復元図」と最近の復元図の違いの説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は 17。

- ① 昔は首を前後に伸ばしてバランスをとる姿勢だったが、最近では頭を上を持ち上げている姿勢で描かれている。
- ② 昔は緑や茶色の恐竜が多かったが、最近では羽のあるカラフルな姿で描かれるようになってきている。
- ③ 昔は頭を上を持ち上げた姿で描かれていたが、最近では首を振ることが難しい姿で描かれている。
- ④ 昔は首をS字に曲げた姿で描かれていたが、最近では首の長さだけが重視されるようになってきている。
- ⑤ 昔は肉食恐竜がこちらをにらんでくる姿が描かれていたが、最近では物陰に隠れている姿で描かれている。

問14

Y

に当てはまる語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

18。

- ① ただ首をうなだれるばかりである
- ② 一切動かすことができなくなってしまふ
- ③ 首を長くして待ち続けることになる
- ④ 首をかけて認めさせるように努める
- ⑤ 首の皮一枚でつながった状態になる

問15

傍線部(9)「命に関わる素材を風景のなかから見逃さない」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

19。

- ① 鳥の肉体を構成しているものを、自然に返そうとすること。
- ② 鳥を食べようとした捕食者を返り討ちにし、決して許さないこと。
- ③ 鳥が食物連鎖の中で生き死にを繰り返し、逃れられないこと。
- ④ 鳥が食べるものや鳥を捕食するものを、もらすことなく見つけること。
- ⑤ 岩や木材などの素材を使って、捕食者から逃れようとする事。

問16

傍線部(10)「振り主は小型種に的をしぼりたい」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

20。

- ① 草陰に隠れる必要のある昆虫であるため。
- ② 大型の肉食者を相手にすることは危険を伴うため。
- ③ どんないきものからも逃走可能であるため。
- ④ それ以外の種ではあまり違和感がないため。
- ⑤ 首振りを行うことに利点がある種であるため。

問17

Z

に入る四字熟語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

21。

- ① 弱肉強食 ② 意気揚々 ③ 理路整然 ④ 事実無根 ⑤ 針小棒大

問18

恐竜が歩き回る姿に対して筆者はどのように説明を行っていたか。最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は

22。

- ① 鳥の歩き方の特徴である首振りを恐竜も行っていたかを焦点として、鳥が首振りをする理由を説明し、鳥と恐竜の身体的な特徴と生態を比較しながら、恐竜が首振りをしていたのか検証している。
- ② 筆者は鳥の研究をしているため、鳥の歩き方の特徴である首振りについては実在する鳥の具体的な事例を上げつつ説明を行っているが、恐竜についてはテレビの再現映像などを根拠にした説明に留めている。
- ③ 鳥類学者である筆者がその専門的な知識を活かしつつ恐竜の歩き方についても考察をしているため、生物学に関わる最先端の研究内容を専門的な用語を用いて厳密に説明している。
- ④ 鳥と恐竜の歩き方を比較し生存競争に生き残るうえでどちらが優れているかについて、わかりやすく勝敗を決するような形式で説明を行っており、話題ごとにその勝敗を明記している。
- ⑤ 筆者は気楽に読んでもらいたいと考えており随所にユーモアを交えながらわかりやすく説明し、鳥と恐竜の比較をする際には必ず人間の例も取り上げる工夫をしている。

【二】 次の各設問に答えなさい。

問1 次のA～Cの人物の作品を、あとの【作品名】①～⑨の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。また、随筆にあたるものを、【作品名】から三つ選びなさい。解答番号は

23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 ・ 27 ・ 28 (26) 28 は順不同)。

A 紀貫之

B 夏目漱石

C 森鷗外

D 随筆のジャンルの作品

26 25 24 23
 ・ 27 ・ 28 (順不同)

【作品名】

① 万葉集

② 高瀬舟

③ 蜻蛉日記

④ 土佐日記

⑤ 方丈記

⑥ 徒然草

⑦ ころも

⑧ 走れメロス

⑨ 枕草子

問2 次のA～Dの四字熟語の()に当てはまる漢字を【 】内の①～④からそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は

29 ・ 30 ・ 31 ・ 32。

A 異()同音

【 ① 句 ② 苦 ③ 口 ④ 久 】

29

B 我()引水

【 ① 伝 ② 田 ③ 雷 ④ 殿 】

30

C 馬()東風

【 ① 鼻 ② 耳 ③ 目 ④ 口 】

31

D 付()雷同

【 ① 和 ② 差 ③ 積 ④ 商 】

32

問3 次のA～Dのことわざの意味を、あとの①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は

33

34

35

36

A 閑古鳥が鳴く

B 捕らぬ狸の皮算用

C 雨垂れ石をうがつ

D へそで茶を沸かす

36

35

34

33

- ① 機嫌を損ねて、人のいうことを聞かないこと。
- ② だまそうとして反対にだまされること。
- ③ 全くおかしくてたまらないこと。
- ④ いざござの起こった後、かえって物事が落ち着き収まること。
- ⑤ 客が来なくて商売がはやらす寂しい様子。
- ⑥ 小さな力でも根気よく続ければ成功すること。
- ⑦ 権力、富、名声などに引き寄せられて訪れてくる客が多いこと。
- ⑧ 不確かなことに期待して計画すること。

問題はここまでです。マークシートは

36

までです。